

# 平成24年度一般会計3月補正予算

国の緊急経済対策について、防災・減災や社会インフラの老朽化対策、産業の構造改革など、真に必要な事業を前倒しで執行できるよう積極的に受け入れ、切れ目のない発注により、早期の景気・雇用回復につなげる。

## 1 補正予算のポイント

(単位 千円)

(1) 公共事業等(投資的経費) 71事業 25,491,887

防災・減災対策	広域河川改修事業	など37事業	7,829,719
社会インフラの老朽化対策	道路橋梁調査費	など14事業	7,581,910
産業の構造改革	国直轄高速道路事業負担金	など20事業	10,080,258

債務負担行為(ゼロ県債)の設定【25年度予算の前倒し執行】 9事業 3,000,000

・出水期までの事業進捗を図るとともに、切れ目のない工事発注により、景気回復を後押し

(2) 中小企業金融円滑化法終了への対応 新規融資枠 5億円 (県制度資金)

(3) 国の補正予算等に伴う基金積立て 7基金 8,158,418

・安心こども基金、緊急雇用創出事業臨時特例基金、森林整備加速化・林業再生基金など

## 2 補正予算の規模

上記の補正増要因に対し、当初予算計上の災害復旧費など公共事業費の減(169億円)をはじめ、義務的経費(人件費・扶助費・公債費)の減(32億円)、県制度資金貸付額の減(86億円)、その他節約等による減(89億円)により、補正予算の規模は、約39億円のマイナスとなる。

補正予算額	3,912,152 千円
既決予算額	622,555,414 千円
累計	618,643,262 千円

(23年度3月補正後現計予算比 +6.7%)

### 【歳入の主な内訳】

県	税	200,000 千円
地方	交付税	1,923,737 千円
国庫	支出金	8,492,239 千円
諸	収入	10,601,705 千円
財政調整用	基金繰入金	5,000,000 千円 (基金残高見込み 43,359百万円)
県	債	4,557,933 千円 (県債残高見込み 1,065,015百万円)
	うち臨時財政対策債	705,000 千円 (臨財債除き残高 752,541百万円)

### 3 主な補正事業の内訳

#### (1) 公共事業等(投資的経費)

##### 防災・減災対策

(単位：千円)

事業名	予算額	事業概要	所管課
1 (公) 広域河川改修事業	(2,034,944) 1,490,123 3,525,067	豪雨や台風による洪水から河川周辺住民の安全を確保するため、河床掘削や築堤を行う。 ・七瀬川(大分市) ・堅田川(佐伯市) ・大野川(豊後大野市) など	河川課
2 復旧治山事業	(1,140,682) 1,476,829 2,617,511	山地崩壊などの災害から周辺住民等の安全を確保するため、荒廃山地の復旧・整備を行う。 ・寒原地区(別府市) ・平石地区(日田市) ・佐土原地区(由布市) など	森林保全課
3 (公) 地域活力基盤交通安全事業	(3,883,920) 279,982 4,163,902	歩行者や自転車利用者等の安全を確保するため、落石防護柵や歩道の整備を行う。 ・国道217号(臼杵市) ・国道213号(国東市) ・日出真那井杵築線(日出町) など	道路保全整備室
4 危険ため池緊急整備事業	(395,617) 195,510 591,127	地震などの自然災害による農業用ため池の損壊を防止するため、改修補強を前倒して実施する。 ・5か所	農村基盤整備課
5 豊の国ハイパーネットワーク運営管理事業	(114,439) 143,739 258,178	地震や津波等の発生などに備え、情報通信基盤の防災対策を強化するため、伝送路を多重化する。 ・国道10号(大分市内、4.6km) ・国道210号(大分市~由布市、39.0km)	情報政策課

##### 社会インフラの老朽化対策

(単位：千円)

事業名	予算額	事業概要	所管課
6 道路橋梁調査費	(269,620) 731,000 1,000,620	道路の安全性を確保するため、橋梁やトンネル等の点検について、計画を前倒して実施する。 併せて、照明灯の道路附属物や横断歩道橋の安全点検等を実施する。	道路保全整備室
7 (公) 地域活力基盤橋梁補修事業	(2,508,900) 73,401 2,582,301	橋梁の安全性を確保するため、老朽化した橋梁の補強・補修を行う。 ・宇佐本耶馬溪線(萬橋) ・円座中津線(森山橋) ・東上戸原線(城井橋) など	道路保全整備室
8 (公) 港湾改修統合事業	(404,848) 82,461 487,309	港湾利用者の安全を確保するため、老朽化した可動橋の補修を行う。 ・佐伯港(佐伯市)	港湾課
9 農道保全対策事業	(86,152) 299,415 385,567	老朽化した農道トンネル等の長寿命化を図るため、施設の点検診断を実施するとともに、補修を行う。 ・点検診断 津久見市、豊後大野市 など ・トンネル補修 オレンジ国東線(国東市)	農村基盤整備課

予算額欄の上段( )は既決予算額、中段は補正予算額、下段は累計

産業の構造改革

(単位：千円)

事業名	予算額	事業概要	所管課
10 (公)国直轄高速道路事業負担金	(2,592,500) 313,916 2,906,416	東九州自動車道(佐伯～蒲江間)の整備に係る本工事等の経費を負担する。	高速道対策局
11 (公)地域活力基盤道路改良事業	(14,146,699) 2,885,549 17,032,248	産業や地域の振興のため、道路ネットワークの整備を推進する。 ・大田杵築線(杵築市) ・豊後高田安岐線(豊後高田市) ・玖珠山国線(玖珠町)など	道路課
12 中山間地域総合整備事業	(3,045,040) 768,124 3,813,164	農業農村の振興に向けて、農道や農業用排水施設などの生産基盤を前倒して整備する。 ・佐伯地区(佐伯市) ・庄内地区(由布市) ・国東地区(国東市)など	農村基盤整備課
13 次世代を担う園芸産地整備事業	(625,094) 101,149 726,243	流通市場での価格形成をリードできるよう、戦略品目の規模拡大を図るため、栽培施設等を前倒して整備する。 ・大規模リース団地施設 トマト(竹田市) ・広域集出荷施設 トマト(九重町)	園芸振興室

(2) 中小企業金融円滑化法終了への対応

(単位：千円)

事項名	新規融資枠	事業概要	所管課
14 中小企業金融円滑化借換資金(県制度資金)	500,000	金融円滑化法終了に備え、25年3月中の融資に対応できるよう、新たに借換資金の融資枠を設ける。  〔債務負担行為 10,814千円〕	経営金融支援室

(3) 国の補正予算に伴う基金積立て

(単位：千円)

基金名	追加造成額	事業概要	所管課
15 安心こども基金	2,366,393	保育所や認定こども園の施設整備など、子育て環境の充実を推進する。	こども子育て支援課 私学振興・青少年課
16 緊急雇用創出事業臨時特例基金	2,841,000	起業後10年以内の企業・NPO等の事業拡大や重点分野(福祉・子育て、農林業等)での雇用創出を支援する。 生活福祉資金貸付原資の助成により、セーフティネット機能を強化する。	雇用・人材育成課 地域福祉推進室
17 森林整備加速化・林業再生基金	2,005,028	地域材の需要拡大に向け、公共施設の木造化や木質バイオマス利用施設の整備などを推進する。	林務管理課